



報告：CSW61 NGOと政府代表団 NGOのサイドイベント

平松昌子（国際婦人年連絡会：BPW連合会） 2017・5・15

城西国際大学紀尾井町キャンパス



NGO として参加する意味・役割

- 1) 政府間の議論にNGOの意見を加え
- 2) NGOの状況・主張への理解を求め
- 3) NGOとして世界の流れを理解する

CSW61
Commission on the Status of Women



WOMEN'S ECONOMIC
EMPOWERMENT IN THE
CHANGING WORLD OF WORK
13-24 March 2017

NGOの意見を反映させるために

- 何を訴えるのか→テーマを知る・・・
- 何を主張するか→内部での調整・・・
- 体制・窓口を整える→政府の代表団にNGO代表を
- NGO代表の仕事→NGOとしての主張を反映させる

テーマを知る → CSW61のテーマ

仕事の世界が変化する中で、女性が経済力を強化するには

- 仕事の現状を理解し
- 女性が仕事を続け収入を確保するにはどうするか
- 賃金の男女格差を解消するには
- 家庭に於ける女性の家事責任(育児・介護・いわゆる家事)
- 女性にとって(男性も)長時間労働を解消するには

女性の経済力を強化するために CSWでの議論から 合意結論の作成に向けて

- 合意結論＝根拠、現状認識、解決への提言で構成され・・・
- その原案＝概ね年末には公表され・・・
- 各国政府は直ちに意見やコメントを送付。NGOも・・・
- CSW会議場では＝各国代表が、自国の政策や現状を発言
- 合意結論作成＝会期後半に非公開での議論を経て・・・

NGOとしての意見をアピールするために 国連ビル内でのイベントを要望

- イベントを展開する→NGO3団体で政府との共催イベントを提案
- タイトルや内容を調整→相互の理解を深める
- タイトル→「女性の経済力強化への鍵」
- ~THE KEYS TO THE ECONOMIC EMPOWERMENT OF WOMEN
- 課題を拾い出し、解決への提案を

サイドイベントの演出と構成・・・

～現状を提示し、格差の理解を求め、提言する

- 男女の賃金格差(連合)
- 女児の教育格差(子どもの権利委員会)
- 家庭での男性の役割(フランスの男性に)
- 途上国での自立支援=(JICA)
- 職業選択の多様性(オーストラリア)
- そして・・・会場からの発言！(提言へ)

サイドイベント

会場の決定から当日へ

- 会場確保＝代表部の役割
- 会場＝第8会議室(定員95)、時間＝17日(金)15:00～75分
- 費用＝会場費→NGO、現地での印刷→代表部
- 企画と折衝→代表団のNGO顧問の役割
- 当日の作業手配→担当団体を中心に



当日は→**95**人の定員に**150**人が



当日の会場・・・参加者＝150人参加国＝39カ国
国別＝USA→20 南ア→9
地域別＝アフリカ→42 北米→30

- ご挨拶は大使に
- 政治家の発言も飛び入りで
- 子どもの教育格差があぶない(大谷)
- 夫婦と子どもが家族の常識?(フランス)
- 大きい給料の男女格差解消へ(連合)
- 途上国支援(JICA)
- 仕事選択の多様性(オーストラリア)



サイドイベントを終了した後、みなで 反省会を挙行！国連近くのタイ料理店へ



おまけ: **NGO**による幕開けから合意結論採択まで

- 61CSWは 3月12日のNGOによるイベントで幕を開けた。
- NYに集まった参加者は7600人（これまで最多）



NYは、
その日から夏時間に！でも、
その**2日後・CSW開会2日目**は雪嵐で国連は閉鎖！
翌日は快晴

1日審議閉鎖の影響：
各国代表の発言は
@**5分**が**4分**に

代表演説で目立ったのは
同一価値労働・同一賃金



毎朝、NGO参加者のために
NGOブリーフィングが行われた
ブリーフィングの中身は充実
事務総長も・・・



最終日、合意結論の審議をリードしたのは ファトマ・ファッサン(エジプト)議長団副議長。

合意結論に書かれた具体的取り組みへの提案

A~DDDまで

そして...

皆で協力して

2030 AGENDA

の実現を！



お疲れ様！

